

# 日本地域看護学会第 25 回学術集会のご案内

## メインテーマ

地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション  
～当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり～

会期：2022年8月27日（土）～8月28日（日）

会場：富山国際会議場 全館 および 一部 Web  
(〒930-0084 富山県富山市大手町1番2号)

URL : <https://jachn25.yupia.net/>

## ご挨拶

Welcome to TOYAMA 2022

日本地域看護学会第25回学術集会を、2022（令和4）年8月27日（土）～28日（日）に、富山国際会議場および一部オンラインにて開催させていただくにあたり、日本地域看護学会会員の皆様、また関係者の皆様へご挨拶申し上げます。

まず保健医療福祉職の皆様が、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大から、人々の生命と生活を守るため、日夜ご尽力くださっていることに心より敬意を表します。

日本地域看護学会は、地域看護学の学術的発展と教育・普及を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的として、1997年に創立されました。以来、地域看護学の専門学会として、また日本学術会議協力学術研究団体として、地域保健医療福祉を支える研究、教育、実践の成果を発信するとともに、国内外の諸機関や産業界、各省庁との連携・協力等による社会貢献を推進してまいりました。

2022年度の第25回学術集会は、メインテーマを「地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション～当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり～」とします。地域看護が時代の要請を捉え、人々の健康と安寧により一層貢献するための方策を見出すことを目指し、富山県や北陸・近県での取り組みから発信することで、これまでの地域看護の実践を振り返り、ポストコロナと Society 5.0「新たな社会」に向けて、看護プロフェッションが果たすべき役割機能・責務を追究することを目指します。特別講演、教育講演、シンポジウム、指定集会の企画を充実させる中で、ポストコロナの地域共生社会に向けた研究や取り組みをプログラムしました。

残暑でまだまだ暑い日が続いているところとなりますが、会場からは黒部立山アルペンルートも近く、富山湾の海の幸でおいしいものも食べることもできます。また1週間後のおわら風の盆に向けて前夜祭も開催中ですので、そこでの幽玄なひと時をお過ごしください。

どうぞ、多くの皆様にご参加いただけることを事務局一同、心よりお待ちしております。

日本地域看護学会第25回学術集会 学術集会長 田村 須賀子  
(富山大学 学術研究部医学系 地域看護学講座 教授)

# プログラム

## 当学術集会は、現地会場とオンラインでのハイブリッド形式で開催いたします

- ・メインプログラム、市民公開シンポジウム、ワークショップは現地会場にて開催します。
- ・一般演題はオンデマンド配信によるオンライン発表とし、一定期間（2週間）視聴可能とします。掲示板にて質疑対応が可能です。

(状況により、変更の可能性があります)

### 学術集会長講演

当事者・家族の暮らしの場で生活を護る地域看護

田村 須賀子 (富山大学学術研究部医学系 地域看護学講座 教授)

### 特別講演

地域看護への期待：看護職の自立のために

上野 千鶴子 氏 (東京大学名誉教授/ NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク 理事長)

### 教育講演 1

‘家族の総意’をどう作り上げるか：解決志向型の家族システムアプローチ

柳原 清子 氏 (長野県看護大学発達看護学講座成人看護学分野 教授)

### 教育講演 2

住民主体の共生型地域づくりとAAR循環

堀田 聡子 氏 (慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)

### 教育講演 3

今、あらためて働き盛り世代への健康へのアプローチ

大神 あゆみ 氏 (大神労働衛生コンサルタント事務所)

### 教育講演 4

ポストコロナ禍の保健師の現任教育

佐伯 和子 氏 (富山県立大学看護学部地域看護学講座 教授)

### シンポジウム A

個々のニーズに向き合い対応していくことにより着実に積み上げる保健師活動

利田 智恵 氏 (富山県中部厚生センター 主幹・保健予防課長 (保健師))

亀山 敦子 氏 (富山県立総合衛生学院 保健学科長 (保健師))

中村 美菜子 氏 (伊那市役所健康増進課保健係 技術主査 (保健師))

松下 光子 氏 (岐阜県立看護大学看護学部地域基礎看護学領域 教授)

### シンポジウム B

地域でともに生きる

佐藤 伸彦 氏 (医療法人社団ナラティブホーム/ 一般社団法人ものがたりの街 理事長)

八塚 美樹 氏 (富山大学学術研究部医学系成人看護学講座 教授 /  
富山聞き書きボランティアクラブ 代表)

春木 加奈 氏 (富山市福祉保健部障害福祉課 主幹 (保健師))

## シンポジウム C

地域包括ケアに必要な多職種間の情報共有を支える ICT の利活用

- 金井 秀明 氏 (北陸先端科学技術大学院大学知識学系ヒューマンライフデザイン領域  
准教授)
- 宮下 ゆり 氏 (能美市健康福祉部いきいき共生課 課長 (保健師) )
- 仲井 培雄 氏 (医療法人社団和楽仁芳珠記念病院 理事長)

### 指定集会 1

生活と医療を統合する継続看護マネジメント：実践への活用

- 長江 弘子 氏 (東京女子医科大学看護学部老年看護学 教授)
- 田中 晴美 氏 (市立砺波総合病院看護部 地域医療看護科長)

### 指定集会 2

地域で守る子どもの健康 ～ネット依存～

- 山田 正明 氏 (富山大学学術研究部医学系 疫学・健康政策学講座 助教)
- 武田 一仁 氏 (富山大学附属病院臨床研究管理センター)

### 指定集会 3

ポストコロナ禍の訪問看護

- 加藤 真理子 氏 (富山県訪問看護ステーション連絡協議会 会長/  
富山赤十字訪問看護ステーション 管理者)
- 藤田 愛 氏 (医療法人社団慈恵会 北須磨訪問看護・リハビリセンター 所長  
(慢性疾患看護専門看護師) )

### 指定集会 4

生活保護利用者の健康自己管理支援

- 谷山 牧 氏 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科 教授)
- 山下 留理子 氏 (徳島大学医歯薬学研究部看護リカレント教育センター 特任教授)
- 橋本(小市) 理恵子 氏 (国際医療福祉大学大学院 研究生)

## 市民公開シンポジウム

アフターコロナ禍の自殺対策：地域で起きた分断の回復に向けて

- 立瀬 剛志 氏 (富山大学学術研究部医学系 疫学・健康政策学講座 助教)
- 麻生 光男 氏 (富山県心の健康センター 所長)
- 藤田 幸司 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム研究員)
- 明橋 大二 氏 (医療法人真生会富山病院心療内科 部長)

## 他

理事会企画セミナー、一般演題 (オンライン発表)、  
ワークショップ (一般・理事会委員会主催)、企業展示、共催ランチョンセミナー、等

※共催ランチョンセミナーについて

複数のランチョンセミナーを予定しています。内容が決まり次第、当学術集会ホームページに掲載します。

(以上、予定。今後変更の可能性あります。)

## 一般演題（オンライン発表）募集要項

### 1. 申込方法

申込期間 : 2022年1月11日（火）～3月14日（月）12:00

申込方法 : オンラインによる登録にて募集します。日本地域看護学会第25回学術集会ホームページにアクセスのうえ、お申し込みください。

URL : <https://jachn25.yupia.net/>

### 2. 発表者の資格

種別	学会員資格	学術集会の参加登録
筆頭発表者	・ 申込時点で学会員 (または入会申込中) の者に限る	・ 演題登録前に参加申込を行い、 前期申込期間内に参加費を支払う ことが必要
共同発表者	・ 非会員でも可	・ 不要

申込み時点で非会員の筆頭発表者の方は、2022年4月末日までに入会申込手続きを済ませてください。なお、入会年度については下記をご参照ください。

<入会年度について>

- (1) 2021年度入会を希望される場合には、2022年1月20日までに入会申込手続きを済ませてください。
- (2) 2022年度入会を希望される場合には、2022年4月末日までに入会申込手続きを済ませてください。なお、申込時に学生の方で2022年3月に卒業見込の方は、2022年度入会としてください。

### 3. 注意事項

- 1) 筆頭発表者1人につき、1演題の申込みとします。ただし、共同発表者としての連名はこの限りではありません。また、ワークショップにもお申込みいただけます。
- 2) 発表内容は、未発表のものに限ります。
- 3) 原則として、演題登録期間を過ぎてからの演題抄録の修正はできません。演題登録の申込最終日には回線が混み合うことが予想されますので、演題登録等は余裕をもって行ってください。
- 4) 演題登録後に筆頭発表者を変更する場合は、必ず学術集会運営事務局（8頁参照）へご連絡ください。なお、変更した筆頭発表者も学会員資格と参加登録が必要となります。
- 5) 発表日時、発表会場については、査読の結果（採否）通知ののち、学術集会開催日の1～2か月前にプログラム送付にて通知いたします（日本地域看護学会第25回学術集会ホームページにも掲載します）。
- 6) 演題登録に関するお問い合わせは、原則として筆頭発表者が行ってください。第三者（共同発表者等）からのお問い合わせには、お答えすることはできません。
- 7) フリーメールアドレスや携帯のメールアドレスをお使いの場合、登録完了メールが届かない等の不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。

#### 4. 演題抄録原稿作成方法

- 1) 日本地域看護学会第25回学術集会ホームページの一般演題登録ページより、Webフォームの項目入力によって演題抄録原稿の作成・登録を行ってください。
- 2) 登録の最後にパスワードを入力する欄があります。演題登録期間中は演題登録番号とパスワードを利用して、何度でも抄録を修正することができます。
- 3) 本文は【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】を記載してください。倫理的配慮についての記載と利益相反(COI)についての開示を入れてください。
- 4) 演題名はサブタイトルを含めて全角50字以内に収めてください。
- 5) 本文文字数は全角で1,000文字以内(図表なし)に収めてください。文字数をオーバーした抄録は「講演集」に掲載することができませんのでご注意ください。

#### 5. 査読

- 1) 査読の結果(採否)については、申込者にメールで4月中にお知らせします。4月中に査読の結果が届かない場合は学術集会運営事務局(8頁参照)までご連絡ください。
- 2) 査読の結果(採否)により修正等をお願いする場合があります。必要な場合はご連絡します。

#### 6. 発表方法

- 1) 事前に提出された発表ファイルを、Web(オンライン開催ページ)上でオンデマンド配信する形式での「オンライン発表」となります。質疑応答は各演題の掲示板にて実施してください。
- 2) 発表ファイルはPDFとします。音声を入れることはできません。作成方法や提出方法等の詳細は、査読結果送信後にご案内します。

#### 7. 注意事項

- 1) 個人名、施設・事業所名、地域名などの固有名詞は、倫理面にご注意のうえ、公表可能な場合のみ記載するようにしてください。
- 2) タイトル・サブタイトルに(その1)(その2)等を記載することは可能ですが、発表順は学術集会事務局にご一任ください。

## ワークショップ（現地開催）募集要項

地域看護の実践・教育・研究にかかわる問題提起や方法の検討などのテーマによるワークショップを数題募集します。なお、ワークショップは参加者との意見交換や討議等、双方向の内容を含むものとします。一方的な伝達を行うだけのものは採用できません。

### 1. 申込方法

申込期間 : 2022年1月11日（火）～3月14日（月）12:00

申込方法 : 日本地域看護学会第25回学術集会ホームページから様式をダウンロードのうえ、掲載している手順に従ってお申し込みください。

URL : <https://jachn25.yupia.net/>

### 2. 世話人の資格

種別	学会員資格	学術集会の参加登録
代表世話人	・1名以上が申込時点で本学会員（申込中を含む）であること	・世話人は全員、参加登録・参加費支払いが必要 （前期申込・後期申込・当日会場受付いずれでも可）
共同世話人		

複数の世話人による申込のみ受け付けます（必ず共同世話人が必要です）。

代表世話人・共同世話人のうち、必ず1名以上が申込時点で本学会員（申込中を含む）であることを条件とします。入会についての詳細は4ページ「2. 発表者の資格」をご参照ください。

代表世話人・共同世話人は全員参加登録及び参加費の支払いが必要です。

### 3. 抄録作成方法

日本地域看護学会第25回学術集会のホームページにてご確認ください。

- ・抄録文字数は全角で1,000文字以内(図表なし)に収めてください。
- ・倫理的配慮についての記載と利益相反(COI)についての開示を入れてください。
- ・必ず【方法】の中にタイムテーブルを記載してください。

(例：説明5分、話題提供25分、意見交換45分、まとめ10分、片付け5分、など)

### 4. 査読・実施日時や会場の通知

- 1) 査読の結果（採否）については、代表世話人宛てにメールで4月中にお知らせします。4月中に査読の結果が届かない場合は学術集会運営事務局（8頁参照）までご連絡ください。
- 2) 査読の結果（採否）により修正等をお願いする場合があります。必要な場合はご連絡します。
- 3) ワークショップ実施の日時、会場等については、査読の結果（採否）通知ののち、学術集会開催日の約1～2か月前にプログラム送付にて通知いたします（日本地域看護学会第25回学術集会ホームページにも掲載します）。

## 5. 実施方法

- 1) ワークショップは現地会場にて開催します。
- 2) 実施時間は、準備・片づけを含め 90 分を予定しています。
- 3) 会場の使用機器については、原則として世話人でご準備ください。
- 4) スクリーン・プロジェクターを使用して頂くことは可能です。
- 5) 会場設営（準備から片付けまで）は、世話人が行ってください。

## 参加申込方法

### 1. 参加費

区分	前期申込（～6/30）	後期申込（7/11～8/31） ・当日会場受付
会員	10,000 円	12,000 円
非会員	12,000 円	
学生（院生を除く）	3,000 円	

※ 講演集の印刷冊子配布は含まれません。講演集は PDF ファイルでダウンロードいただけます。

### 2. 申込の期間と方法

**前期参加申込・入金期間** : 2022 年 1 月 11 日（火）～6 月 30 日（木）24 時

**後期参加申込・入金期間** : 2022 年 7 月 11 日（月）～8 月 31 日（水）24 時

日本地域看護学会第 25 回学術集会ホームページから申込の上、期間内に参加費をお支払いください。口座番号は申込後の確認メールに記載しています。

また、現地会場での当日受付でもご参加いただけます。

#### <参加費お支払い時の注意点>

- 1) 前期申込参加費のお支払いは、ゆうちょ振替口座への入金または PayPal（ペイパル）が利用できます。後期申込参加費のお支払い方法は PayPal（ペイパル）のみです。
- 2) 同封もしくは郵便局備え付けの払込取扱票を利用する場合、前期参加申込の結果発行される 4 桁の参加登録番号を明記してください。
- 3) 1 枚の払込取扱票で複数名の金額を入金する場合は、該当する参加者の参加登録番号と氏名を通信欄に明記してください。
- 4) 払込取扱票を利用せず、振込でお支払いいただくことも可能です。ただしこの場合、必ず 4 桁の参加登録番号を振込人名義の先頭に添えてください。  
(記載例. 7154 トヤマ ハナコ)
- 5) 6 月 30 日までに入金を確認できない場合、前期申込は取り消しとなります。後期申込、または当日会場受付にてご参加ください。
- 6) 非会員であって、入会申込のうえ会員資格で事前申込をされる方は、入会年度を選ぶことができます。入会についての詳細は 4 ページ「2. 発表者の資格」をご参照ください。
- 7) 一度払込された参加費等の返金には応じられません。

### 3. 領収書・参加証・講演集について

現地開催の1週間ほど前に公開する予定の「オンライン開催ページ」にて、領収書・参加証・講演集のPDFファイルがダウンロードできます。

なお、講演集の印刷冊子をご購入いただくことも可能です(送料・手数料込み2,500円)。購入方法は別途ホームページでご案内します。

また、現地会場では1部2,000円にて販売します。印刷部数が限られますので、売り切れの際は後日の送付となりますこと、何卒ご容赦ください。

## 現地会場案内

### 現地会場へのアクセス

北陸新幹線・北陸本線「富山駅」より徒歩10分

(詳細は日本地域看護学会第25回学術集会ホームページでご確認ください)

### 宿泊について

学術集会側での手配は行っておりません。恐れ入りますが、ご自身でのお手配をお願いいたします。

## お問い合わせ

### 日本地域看護学会 第25回学術集会事務局 (学術集会全般)

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

富山大学 学術研究部医学系 地域看護学講座

E-mail: jachn25@med.u-toyama.ac.jp

※お問い合わせはメールにてお願いいたします。

回答が遅れる場合があります。余裕をもってお問い合わせください。

### 日本地域看護学会 第25回学術集会運営事務局 (参加・演題・ワークショップ申込など)

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 (株)ユピア内

E-mail: jachn25@yupia.net

Tel: 052-872-8101 (平日10-16時) Fax: 050-3737-7331

### 一般社団法人日本地域看護学会事務センター (学会入会および会員登録情報の変更など)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F (株)ワールドプランニング内

Tel: 03-5206-7431 Fax: 03-5206-7757 E-mail: ckango@zfhv.ftbb.net

お問合せ時間: 土・日・祝日を除く10:00~17:00

\*参加登録、演題・ワークショップ申し込み情報は上記内で共有させていただきます。

お預かりする情報は当学術集会の開催のみに利用し、その他の目的に利用することはありません。また、情報は厳にこれを保護します。